

観光社会資本の事例

テーマ	くまもとアートポリスプロジェクト	
【施設の状況写真】	清和文楽館  <p data-bbox="220 853 762 987">山都町にある清和文楽邑。清和文楽館を始め、郷土料理館などの施設が観光客を楽しませている。</p>	四季彩いちのみや  <p data-bbox="842 853 1412 987">阿蘇市にある「四季彩いちのみや」。阿蘇の山々を望むロケーションと建物が見事にマッチしている。</p>
【施設の利用写真】	清和文楽館  <p data-bbox="252 1641 603 1731">文楽館の中で、人形浄瑠璃の公演を楽しむ観光客。</p>	四季彩いちのみや  <p data-bbox="746 1641 1380 1731">地元の特産物や加工品を目当てに多くの観光客が訪れます。</p>
【観光資源としての利用状況】 くまもとアートポリス参加施設は、ランドマークとして地域のまちづくり等活性化に寄与しています。中でも、清和文楽館(山都町)、一の宮直売所「四季彩いちのみや」(阿蘇市)などは、多くの観光客が訪れる施設として賑わいを見せています。また、国内外から多くの建築関係者が視察に訪れています。		

テーマ	くまもとアートポリスプロジェクト
【社会資本の基礎データ】	
名称	くまもとアートポリス
所在地	熊本県内
事業名	くまもとアートポリス事業
事業主体	熊本県
事業期間	昭和63年～継続中
【社会資本の役割・効果】	
くまもとアートポリス事業の役割	
熊本県の豊かな自然、歴史、文化などを生かして、機能面、デザインともに優れた建物や橋などをつくることにより、後世に残り得る文化的資産を創造していきます。	
事業効果	
くまもとアートポリス事業に参加し整備された建造物は、67施設に上ります。各施設は、地域のランドマークとなり、観光やまちづくり等の活動の中心として、地域活性化に貢献しています。	
【位置図】	
県内に67施設が点在しています。	 熊本県全県地図。県内各地に施設が点在していることが確認できる。2つの施設が青い矢印で指し示されている。一つは「四季彩いちのみや」(上野原市)、もう一つは「清和文楽館」(宇土町)である。
詳しい資料は、ホームページに掲載。	
【関連ホームページ】	
熊本県ホームページ内 くまもとアートポリス	
http://www.pref.kumamoto.jp/traffic/artpolis/index.html	

